

高校生からの提言～世界の課題から、多摩市の未来を提言する～について(報告)

1. 概要

都立永山高校(以下、「永山高校」。)の3年生は、学習指導要領が変更されて「総合的な探究の時間」の授業を、永山高校で初めて1年生から受けてきた生徒である。

現在、総合的な探究の時間で、「世界の課題から、多摩市の未来を提言する」をテーマに学習を進めている。課題は、以下の表のとおり大きく分けて3つ。生徒は自分自身の興味があることについて学習を深める中で、「多摩市(地域)の課題」について分析・考察し、最終的に「多摩市への提言書」をまとめることで、①資料読解力、②複数資料の比較・統合、③論理的思考力、④根拠を用いた表現力、⑤他者へ伝える力、を高めることを目的としている。

また、本市が推進する「多摩市子ども・若者の権利を保障し支援と活躍を推進する条例」には、「子ども・若者による意見の表明及びまちづくりへの参画の機会が保障されること」及び「子ども・若者には、社会の一員として意見を表明し、暮らしやすいまちの実現に向けて参画する権利があること」が謳われており、本条例に基づく取組として、永山高校と連携して本事業を実施する。

3つの課題	概要	キーワード
フェアトレード	多摩市の正しい消費者としてできること	フェアトレード／地産地消／食品ロス／地域商店街／エシカル消費
貧困	多摩市の貧困問題に必要なこと	子どもの居場所／学習支援／孤食／ヤングケアラー／情報格差
天災	多摩市の防災に必要なこと	高齢者支援／外国人支援／避難所／地域交流／情報共有

2. スケジュール

時期	内容
7月16日(木)	市職員による講話(子若条例に基づく意見表明と市政への参画等について)
9月～10月	市職員による事前学習への支援
11月24日(火)	代表の生徒が市役所で提言を発表(※関係者のみ、非公開)
12月中	書面で、市長から全生徒に向けた講評を送付(A4 1枚程度)
提言発表後	永山図書館等で提言等の展示(調整中)

3. 生徒からの提言

(ア) 受け取る提言書 3年生全生徒分(約300件)

(イ) 市の対応 代表提言6件については、市長・副市長へ提言を発表する機会を設け、意見交換を行い、市長・副市長から講評する。代表以外の提言はデータで受け取り、後日、書面で全生徒に向けた講評を送付する。